

2024年度実施 実物送付プロジェクト 報告レポート

日本OTC医薬品協会

（実施者：ホワイトヘルスケア株式会社）

- プロジェクトの概要
- アンケート調査結果
 - 送付したOTC医薬品の認知率・利用歴
 - 送付したOTC医薬品の利用意思
 - 実物送付の効果
 - その他

プロジェクトの概要

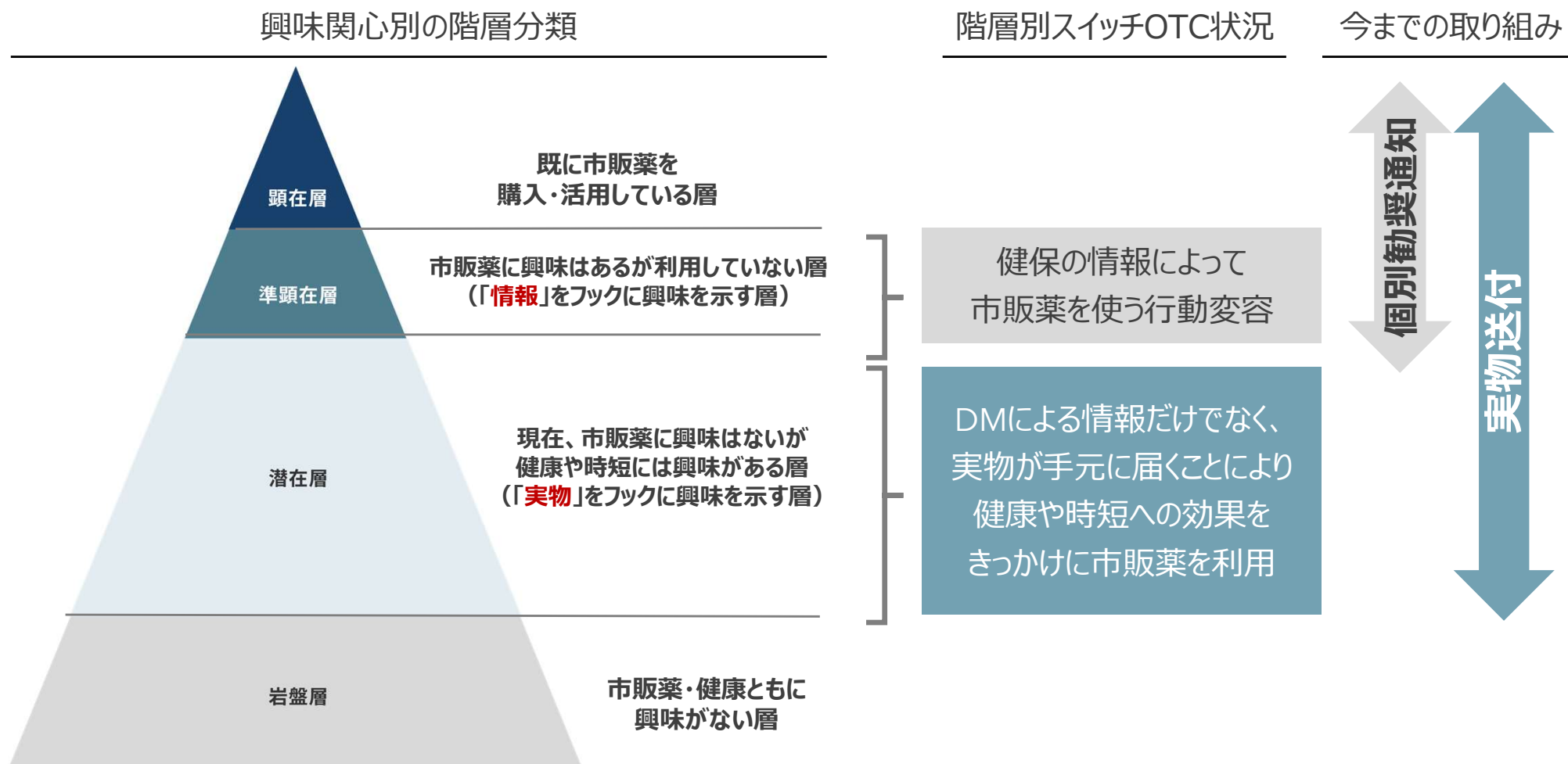
- 通院歴のある花粉症患者に対して、医師から処方された医療用医薬品と同一有効成分のOTC医薬品をお試しいただき、その認識や心境の変化について調査を実施した。
 - 本取り組みでは、5つの健康保険組合から提供を受けた2023年度(2023年4月～2024年3月)のレセプトデータの情報から取り組み対象者を抽出し、健康保険組合の保健事業の一貫として、対象者に対して、
まず、2025/1/27にDM（スイッチOTCを勧奨する内容の手紙）を送付、
続けて、2025/1/31から2/3にかけてスイッチOTC医薬品等（次頁ご参照）を送付した。
 - 5つの健康保険組合の概要および対象者数は以下のとおり。

A健保：自動車関連	897名	B健保：自動車関連	413名
C健保：卸関連	285名	D健保：機械関連	335名
E健保：機械関連	221名		
送付対象者合計2,151名			
 - 対象のOTC医薬品の送付数は以下のとおり

エスエス製薬 アレジオン20	477名（エピナスチン処方者）
大正製薬 クラリチンEX	607名（ロラタジン処方者）
久光製薬 アレグラFX	1,067名（フェキソフェナジン処方者）
 - アンケート回答者数は548名（回収率25%）

プロジェクトの位置づけ

「情報提供 × 実物体験 × 信頼チャネル」——行動変容を促す3要素を設計し、関心層のすそ野を広げる



送付物

- 送付物は、①OTC医薬品（6または7日分） ②啓発資料 ③案内状 の3点
- 以下は、送付物②啓発資料（A3折込。裏表1枚）

知ってトクする！ セルフメディケーション税制

「セルフメディケーション税制」とは？

きちんと健康診断を受けている人が、一部の市販薬を購入した際に**税金が戻ってくる**（所得控除を受けられる）制度です。
厚生労働省のWebサイトに掲載されている医薬品が対象となります。
（令和6年12月1日時点で7,196品目）

このマークが目印！

セルフメディケーション
税 控除 対象

レシートの品名に「★マーク」が印字されます。

レシートは捨てずに保管しましょう！

2022年1月～
スイッチOTCに加え**3つの症状群**に対応！

スイッチOTC

アレルギーの症状群
かぜ薬
腫瘍薬

腫瘍・関節痛・肩こり
シップ薬

対象となる方

所得税や住民税を納めている、健康の維持増進及び疾病の予防への取組として一定の取組を行う個人として、右記のいずれかを受けている方。

- 勤務先で実施する定期健康診断
- 特定健診（いわゆるメタボ健診）
- インフルエンザ等の予防接種
- 市町村が実施するがん検診
- 保健者が実施する健康診断

セルフメディケーション に取り組んでみませんか？

セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任をもち、軽微な身体の不調は自分で対処すること」です。
毎日をいそいそと過ごすためにセルフメディケーションを实践して、あなたの健康管理力を高めていきましょう。

セルフメディケーションの心強い味方！ こんなときにはOTC医薬品をご活用ください！

忙しいと思うように受診ができない！

病院に行くほどでもないけど体調が悪い

待合室での感染が不安

OTC医薬品とは？

OTC医薬品はOver The Counterの略で、薬局やドラッグストアなどで（カウンター越しに）、医師の処方箋なく購入できる一般用医薬品のこと。いろいろな疾病や症状の改善に効果を発揮します。自分自身で健康管理を行い、軽微な症状の緩和などに活用することができます！

OTC医薬品には処方箋と有効成分が同一のものがあります！

医師による処方が必要な医療用医薬品

ドラッグストア等で購入できる同一有効成分のOTC医薬品

医師から処方される医療用医薬品のうち、副作用が少なく安全性の高いものをOTC医薬品に転用したものを「スイッチOTC医薬品」といいます。

▼医療用医薬品からスイッチされているOTC医薬品の例▼

フェキソフェナジン60mg 医療用医薬品 → フェキソフェナジンotc スイッチOTC医薬品

エビスタセン20mg 医療用医薬品 → エビスタセンotc スイッチOTC医薬品

ロラタジン錠10mg 医療用医薬品 → ロラタジンotc スイッチOTC医薬品

フルケナーゼ点鼻液50μg 医療用医薬品 → フルタカンゾtsc スイッチOTC医薬品

身近で便利なお薬の選択肢「OTC医薬品」を活用して、セルフメディケーションを始めてみましょう！

知っておきたい！ Q&A スイッチOTC医薬品に関する 疑問にお答えします！

Q1. スイッチOTC医薬品は効き目が弱い？

A. スイッチOTC医薬品などは、病院でもらう薬と同じ有効成分を含んでいるため、医療用と同様に、高い効果が期待できます。

ドラッグストア等で購入できるOTC医薬品（市販薬）の中には、副作用が少なく安全性の高い医療用医薬品をOTC医薬品に転用した「スイッチOTC医薬品」があります。花粉症をはじめ、皮膚病や胃腸、関節痛など多岐の病気が薬売されており、軽微な症状の多くは、スイッチOTC医薬品で対応できます。

Q2. 病院でもらうお薬と スイッチOTCはどちらが安い？

A. 医療機関では、お薬代以外にも診察代などが発生するため、自己負担額はスイッチOTC医薬品と変わらないケースも多くあります。

さらに、スイッチOTC医薬品は同一有効成分であっても、メーカーによって価格が異なります。
薬局やドラッグストアの薬剤師さんに聞いてみると、お薬のことを知って、賢く活用しましょう！

花粉症の場合

項目	金額
調剤料	1,830円～
診察料	約565円～
お薬代	お薬代（市販薬）

※お薬代は処方されたお薬の自己負担額（保険給付の割合）
※薬局・ドラッグストアで市販薬を購入した場合の価格

セルフメディケーション税制でもっとおトクに！

健康診断を受けている人が、「セルフメディケーション税制」のマークがある市販薬を購入した際に、確定申告することにより、所得控除を受けることができます。
（通常の医療費控除との選択適用となります。）

対象医薬品を3万円購入した場合（課税所得400万円（※所得税率20%、住民税率10%）の場合）

項目	金額
18,000円（控除額）	18,000円が課税所得額から控除される！
所得税	18,000円 × 20% = 3,600円
住民税	18,000円 × 10% = 1,800円
トータルで	5,400円が戻ってくる！

対象医薬品の購入金額

送付物

- 以下は、送付物③案内状（A4裏表1枚）

加入者各位

2025年1月末日

〇〇健康保険組合

セルフメディケーション推進に向けたスイッチ OTC 医薬品（アレルギー専用鼻薬）の送付について

当健康保険組合では、保健事業の一環として、セルフメディケーション（軽度な身体の不調に対して、市販薬を活用してご自身で対処する健康管理）の推進に取り組んでおります。

今年度のセルフメディケーション推進の新たな取り組みとして、過去にアレルギー性鼻炎（花粉症）と診断された等の条件に合致する加入者様に市販のアレルギー専用鼻薬（スイッチ OTC 医薬品[※]）1週間分を試験的に提供・送付させていただきますので、是非、花粉症シーズンの皆様の健康管理にお役立てください。

本取り組みは医療機関での診断や治療に代わるものではなく、適切な医療を受けるための意識向上を目指しております。

※ スイッチ OTC 医薬品とは、医師が処方する医薬品（医療用医薬品）として使用されてきた有効成分が、市販薬に転用された医薬品です。

記

本取組につきまして

① 目的

- 加入者の皆様のセルフメディケーションを推進する。
- 加入者の皆様の医療機関への過度な依存を減らし、医療費の適正化を実現する。

② 対象者

- 2023年4月から2024年3月までの通院歴を基に、アレルギー性鼻炎（花粉症）の治療のため医療機関から特定の医薬品（フェキソフェナジン塩酸塩、エピナスチン塩酸塩、ロラタジン）を処方された事がある加入者様（同時に複数の疾患で治療を受けていない等一定の条件を満たす方に限ります）。

③ 実施内容

対象者に対して、医療機関で処方された医薬品と同じ有効成分を含むスイッチ OTC 医薬品（アレルギー専用鼻薬）を提供・送付いたします。なお、送付したスイッチ OTC 医薬品は、当健康保険組合が提供委託している EC サイト「あなたの薬箱」で購入可能です。

「あなたの薬箱」のご登録・ログインはこちら▶▶▶



④ 留意事項

- アレルギー専用鼻薬の効果や副作用には個人差がある為、ご使用の際には、製品の添付文書を十分にご確認ください。
- アレルギー専用鼻薬の使用は、軽度な症状に限定されるものであり、症状が長引く場合や重症化の場合は、必ず医療機関を受診してください。
- これらの医薬品を使用する際に、不安や疑問がある場合は、かかりつけの薬剤師等にご相談ください。

⑤ アンケートについて

裏面記載のアンケートにご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

⑥ 本取り組みに関するお問い合わせ

本事業の委託先：ホワイトヘルスケア株式会社 selfmed_service@whitehealthcare.co.jp

※ 送付した医薬品についてのお問合わせ

医薬品販売業者：白石薬品株式会社 店舗管理者：西田 正（登録販売者）

〒567-0005 大阪府茨木市五日市 1-10-33 TEL.072-645-4666

営業時間：平日 9:00～17:00 / 定休日：土・日・祝日・年末年始

届いたお薬が不要な場合は、2025年3月末までに着払いにて白石薬品側までご返送ください。

市販薬等に関するアンケート実施中!

ご回答者全員にもれなく
Amazon
ギフトカード
1,000円分
を進呈します!

アンケートの回答方法 回答期限：2025年3月31日(月)

STEP

下記QRからアンケートにアクセスの上、ご回答をお願いします。
(回答時間：約10分)

STEP2

後日、ご登録のメールアドレスへギフトコードをお送りいたします。

ご利用詳細

市販薬(OTC医薬品)やセルフメディケーションに対する意識調査を目的としたアンケートです。ご回答いただいた皆様にもれなくAmazonギフトカード1,000円分を差し上げます。ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

※ アンケートの内容については、個人を特定しない統計情報として取り扱い、お客様の情報の保護とプライバシーを最優先に考え、厳重に管理いたしますので安心ください。

※ 本調査はホワイトヘルスケア株式会社による提供です。お問い合わせはAmazonではお受けしておりません。本件に関するお問い合わせは、下記のホワイトヘルスケア株式会社までお願いいたします。

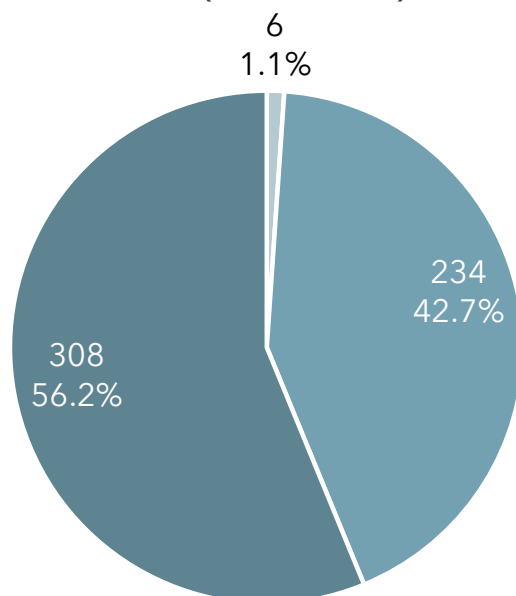
※ Amazon、Amazon.co.jpおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

本件に関するお問い合わせ先 ホワイトヘルスケア株式会社
selfmed_service@whitehealthcare.co.jp

回答者の属性

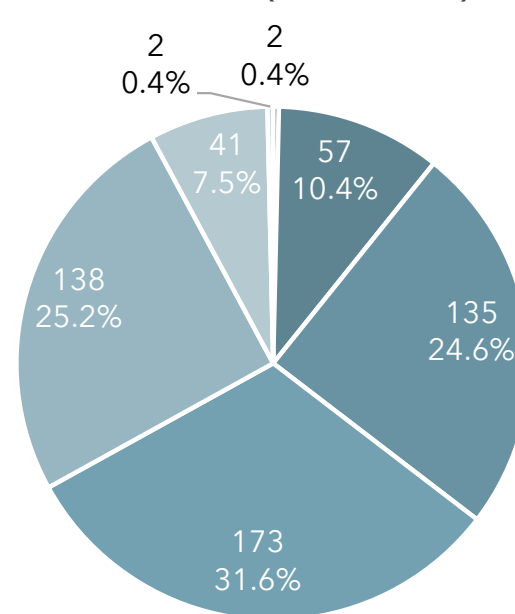
幅広い層から回答を聴取

性別 (回答数: 548)



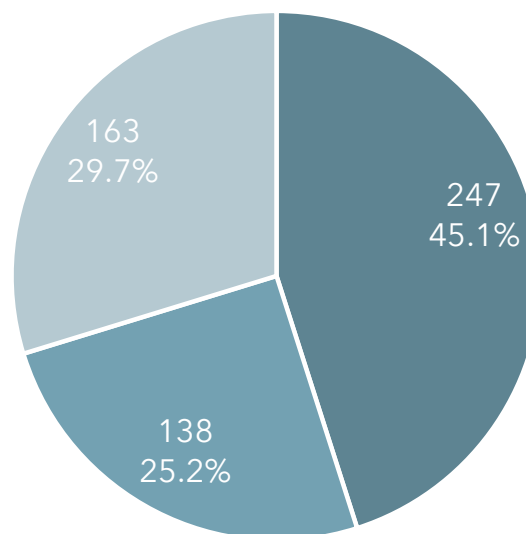
- 回答しない
- 女性
- 男性

年代 (回答数: 548)



- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代

スイッチOTCの種類 (回答数: 548)



- アレグラFX
- アレジオン20
- クラリチンEX

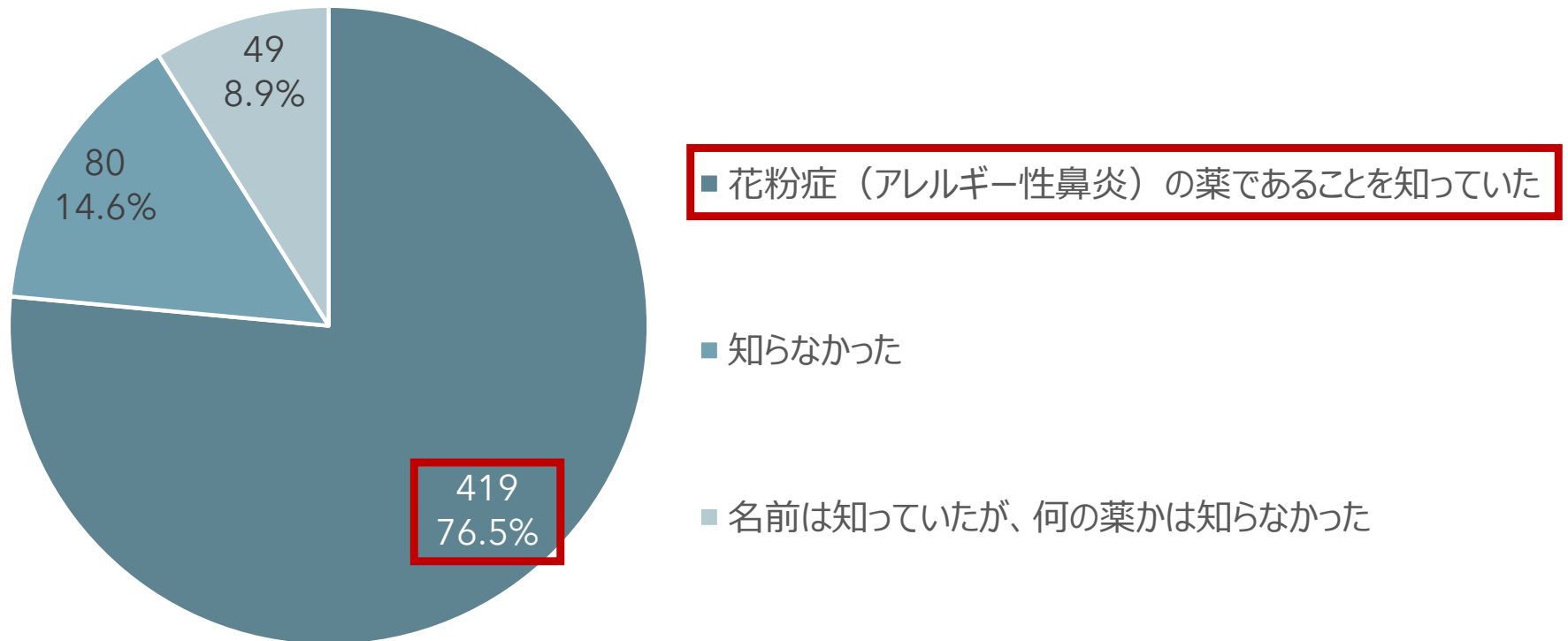
| Agenda

- プロジェクトの概要
- アンケート調査結果
 - 送付したOTC医薬品の認知率・利用歴
 - 送付したOTC医薬品の利用状況
 - 実物送付の効果
 - その他
- 今後のご提案（2025年度展望と拡張方針）

スイッチOTC医薬品の認知率

- 手元に届いた市販薬の認知率は77%と高い

Q今回お送りした市販薬について、以前からご存知でしたか？(回答数: 548)

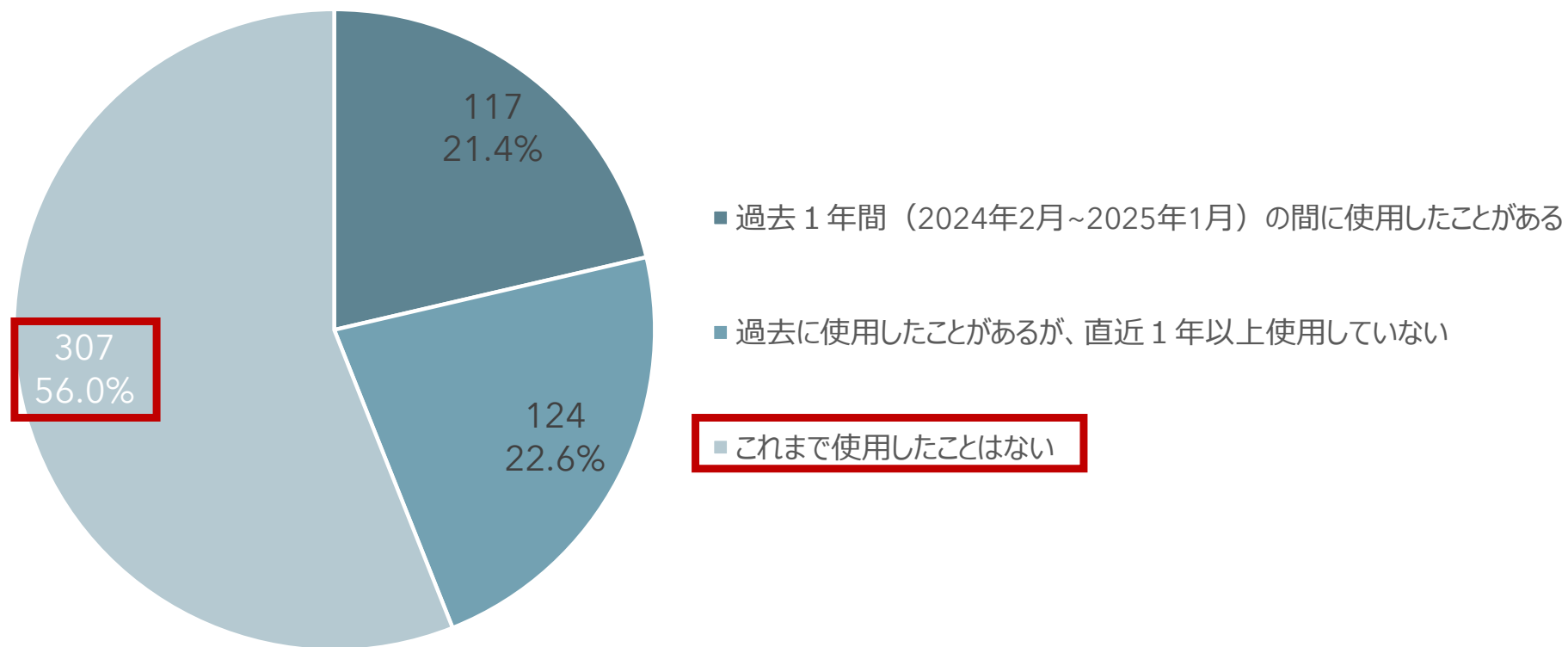


花粉症患者においても23%は市販薬を認知/理解していない

スイッチOTC医薬品の利用歴

- （同一成分の医療用医薬品が処方されているに関わらず、）利用歴は44%に留まり、過半（56%）が利用したことがない

Q今回お手元に届いた市販薬の過去の使用経験について、該当するものをご回答ください。(回答数: 548)

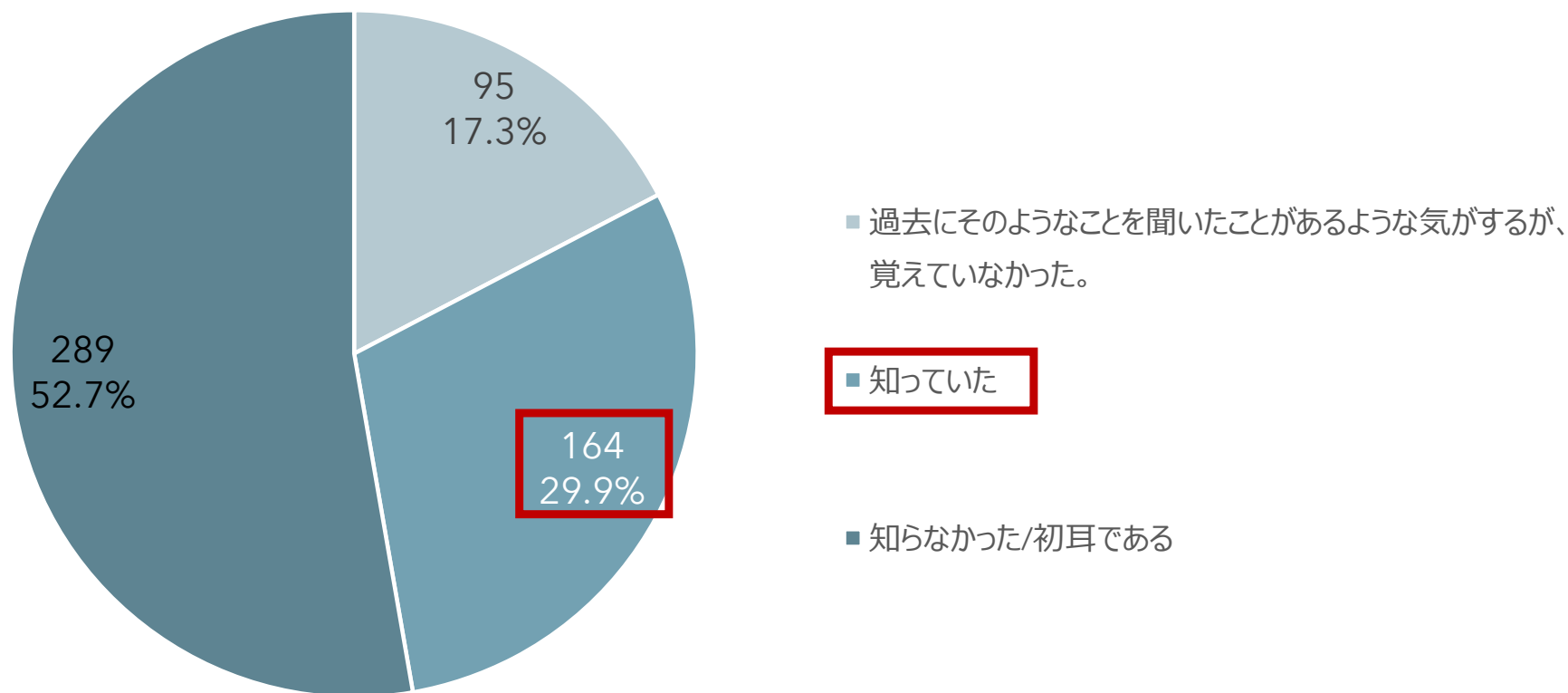


実物送付は新たな顧客獲得の契機となりうる

医療用医薬品と同一有効成分であることの認知率

・ 処方された医療用医薬品と同一有効成分であることの理解度は30%に留まる

Q今回お手元に届いた市販薬は、以前あなたが病院または診療所から処方された医薬品と「同一有効成分」のお薬であることをご存じでしたか？（回答数548）



スイッチOTC医薬品に対する理解促進が十分ではない実態

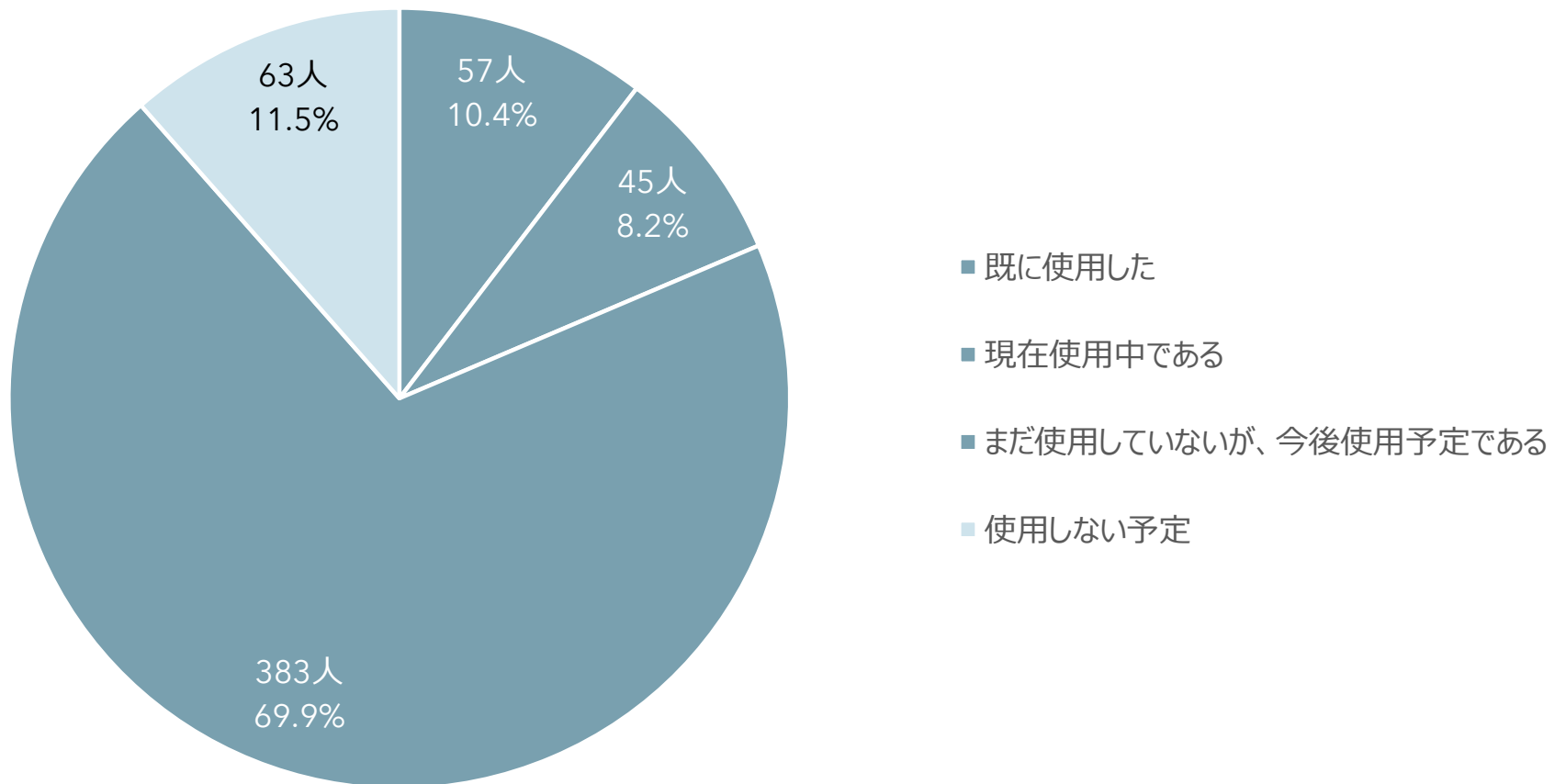
| Agenda

- プロジェクトの概要
- アンケート調査結果
 - 送付したOTC医薬品の認知率・利用歴
 - 送付したOTC医薬品の利用状況
 - 実物送付の効果
 - その他

実物送付の効果（実物の試用率）

- 89%が送付された市販薬を利用すると回答。

Q今回お送りした市販薬の使用（または使用予定）について、最も近いものをご回答ください。（回答数548）



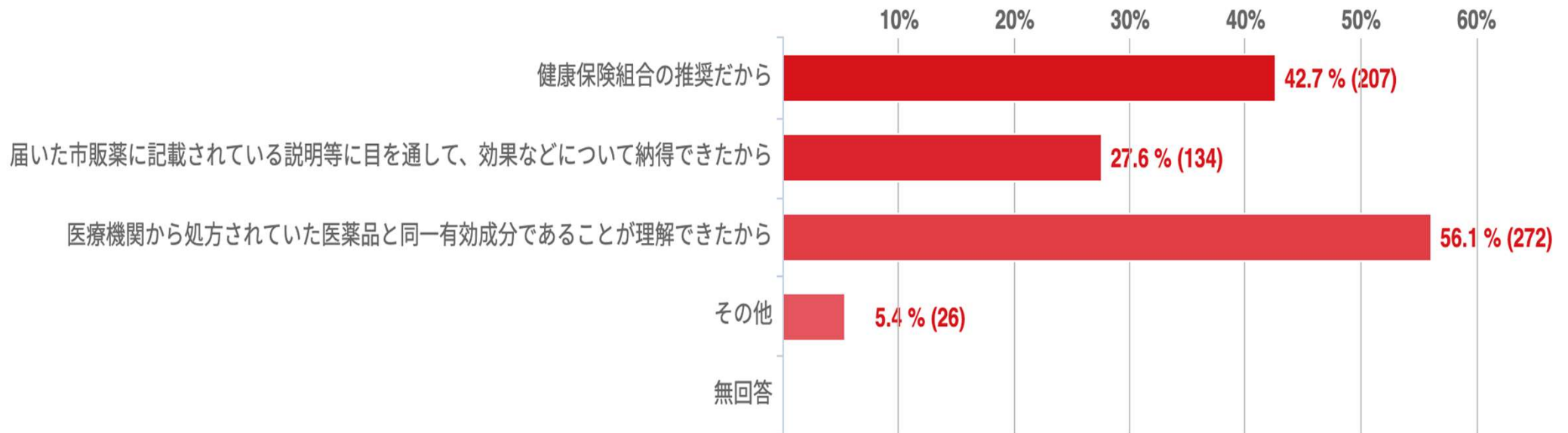
実物が手元に届くことによりセルフメディケーションが自分ごと化し行動変容に繋がる

送付された市販薬を試用する理由

送付された市販薬を試用する理由は、

- ・「同一有効成分であることを理解したから」が56%と過半を占める
- ・次いで「健康保険組合の推奨だから」が42%

Q今回お送りした市販薬を使ってみようと思った理由について、あなたの考えに近いものをご回答ください。
(回答数: 485)【複数回答】

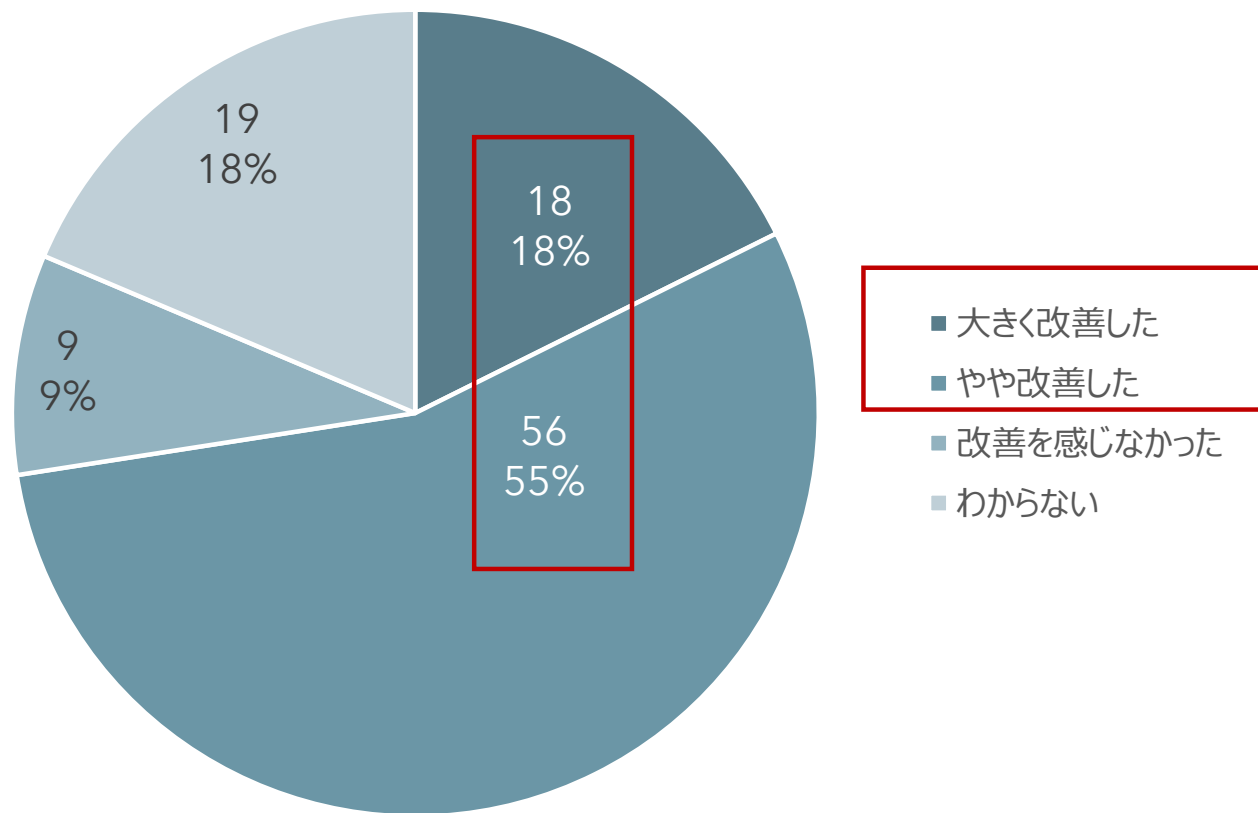


信頼のある「健康保険組合から」「同一有効成分であるとの情報」を
届けることが行動変容の動機となる

送付したOTCの症状改善効果

- 送付したOTCを使用した結果、症状の改善を感じた方が73%

Q. （使用者への限定質問） 使用した結果、症状の改善を感じましたか？ （回答数：102）



OTCを利用すれば多くの方が症状の改善効果を実感できる

| Agenda

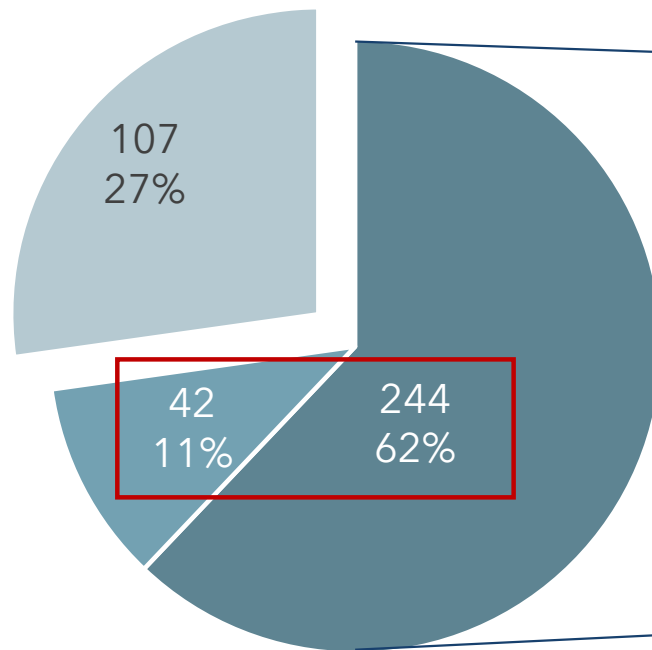
- プロジェクトの概要
- アンケート調査結果
 - 送付したOTC医薬品の認知率・利用歴
 - 送付したOTC医薬品の利用状況
 - 実物送付の効果
 - その他

実物送付の効果

- DM送付のセルメ啓発効果は27%に留まるが、その後の実物送付により、DMだけではOTC購入を検討しなかった層の40%がOTCの購入を検討

Q. お手紙をお目通しいただいた時点（市販薬の送付を確認する前）のあなたの考えに最も近いものをご回答ください。(回答数: 393)

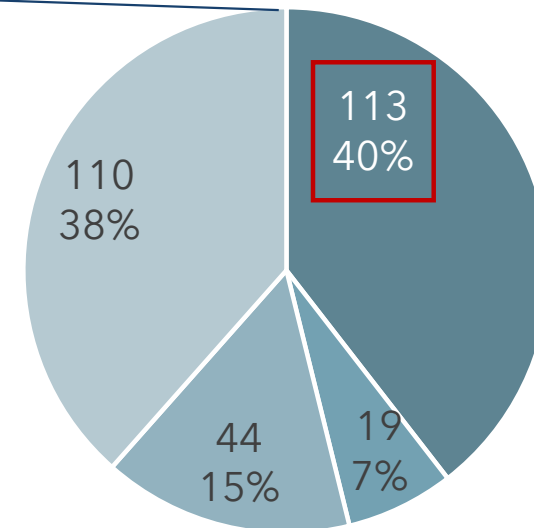
※DMを「事前に確認した」と回答した393名が対象



- 市販薬の購入は検討していなかった
- わからない
- 市販薬の購入を予定していた（すでに購入した場合を含む）

Q. 今回の市販薬の送付を受けて、あなたの考えに最も近いものをご回答ください。(回答数: 286)

※DM通知による啓発だけでは「市販薬の購入を検討していなかった」「わからない」と回答した286名が対象



- 今後は（今後とも）送付された市販薬を購入しようと考えている
- 今後は（今後とも）送付された市販薬以外の市販薬を購入しようと考えている
- 今後は（今後とも）市販薬は購入しないと思う
- わからない

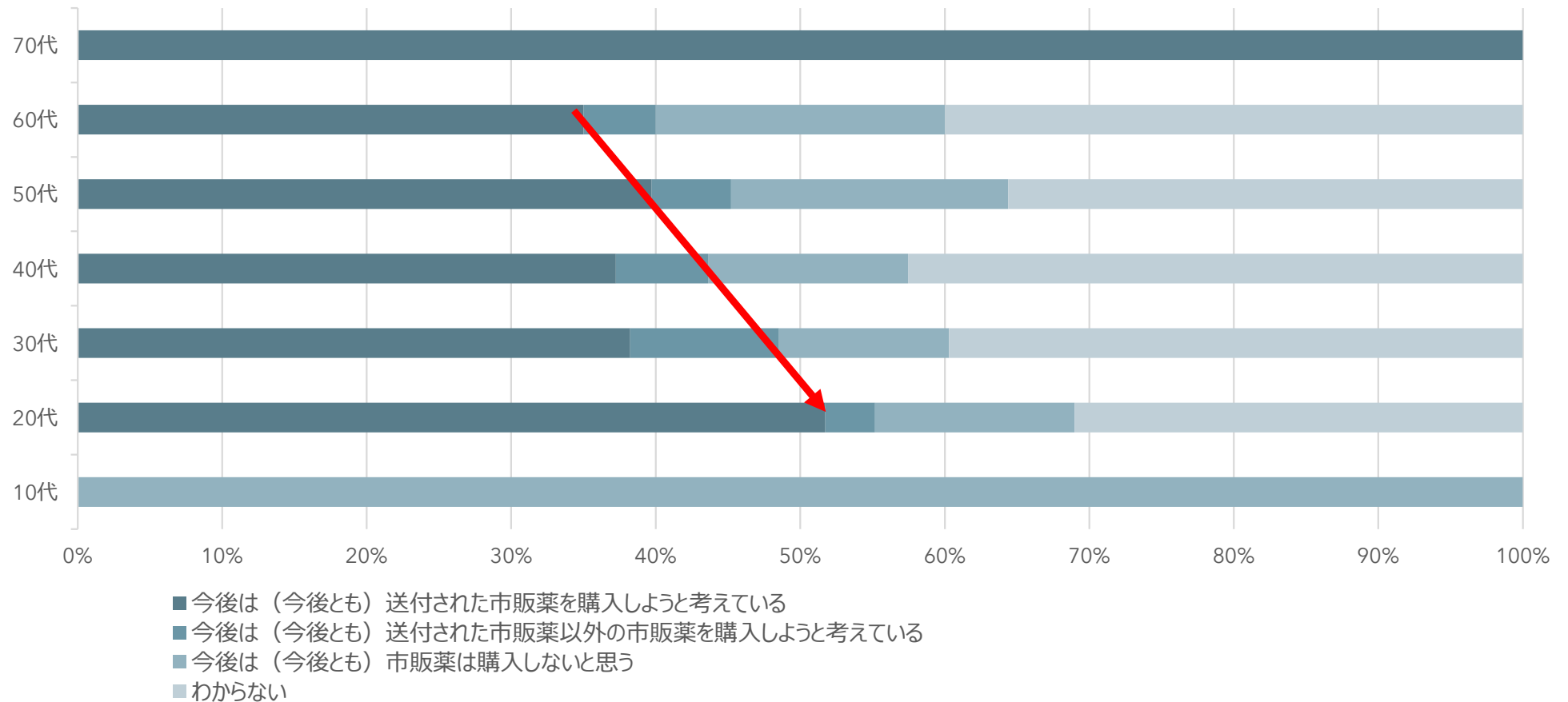
実物送付により、DMだけではできなかった行動変容を実現

実物送付の効果（継続購入_年代別）

- 継続購入意向は若いほうが高い傾向が見られた。

Q 今回の市販薬の送付を受けて、あなたの考えに最も近いものをご回答ください。(回答数: 286)

※手紙通知による啓発だけでは「市販薬の購入を検討していなかった」「わからない」と回答した286名が対象

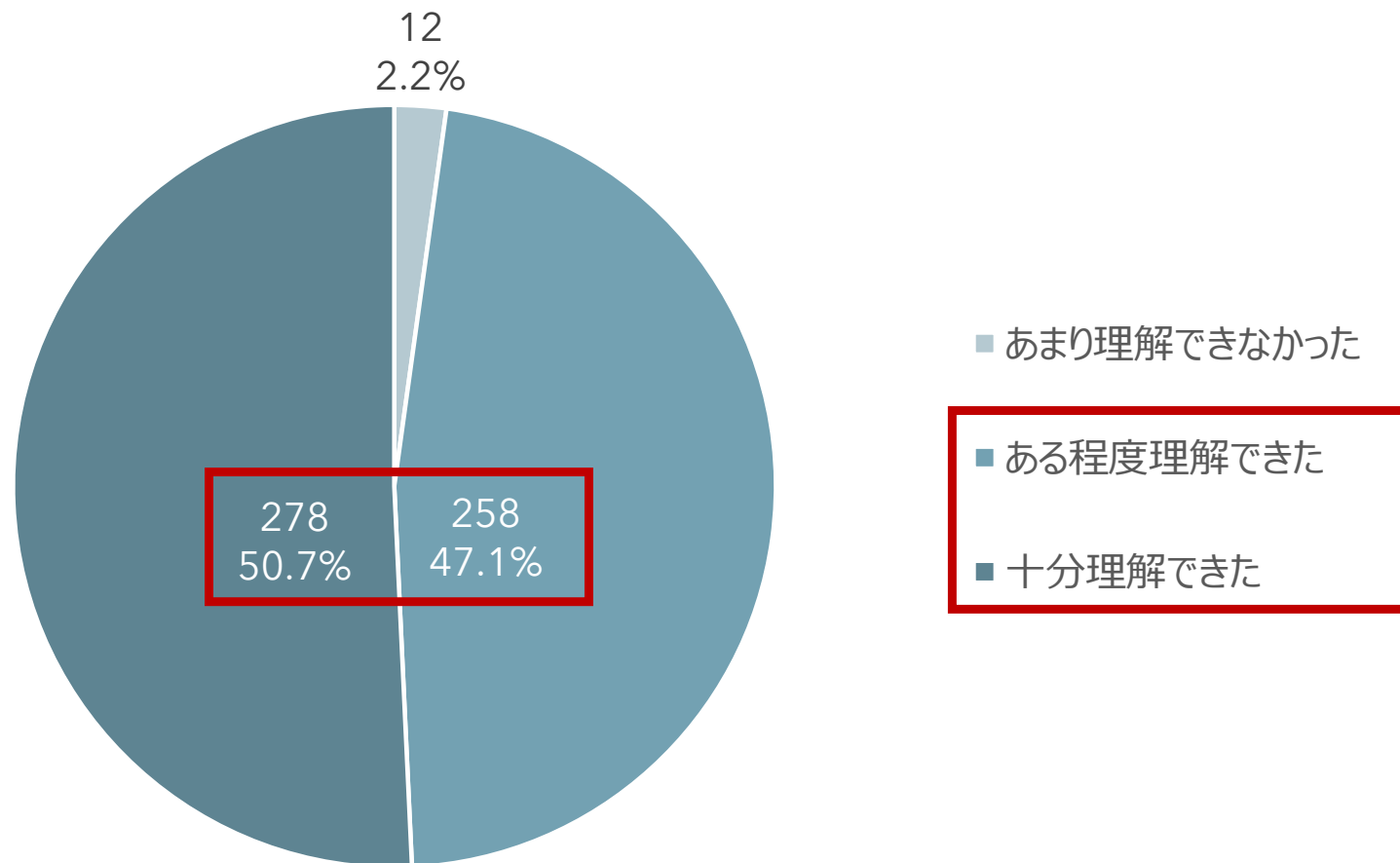


若い世代ほどOTCに対する受容度が大きい可能性がある

実物送付の効果（セルフメディケーションにかかる理解の促進）

- 98%が市販薬活用による本施策の目的について「理解ができた」と回答

Q今回、健康保険組合から市販薬が送付された目的（セルフメディケーション推進、医療費適正化など）に対するあなたの理解度について、最も近いものをご回答ください。(回答数: 548)

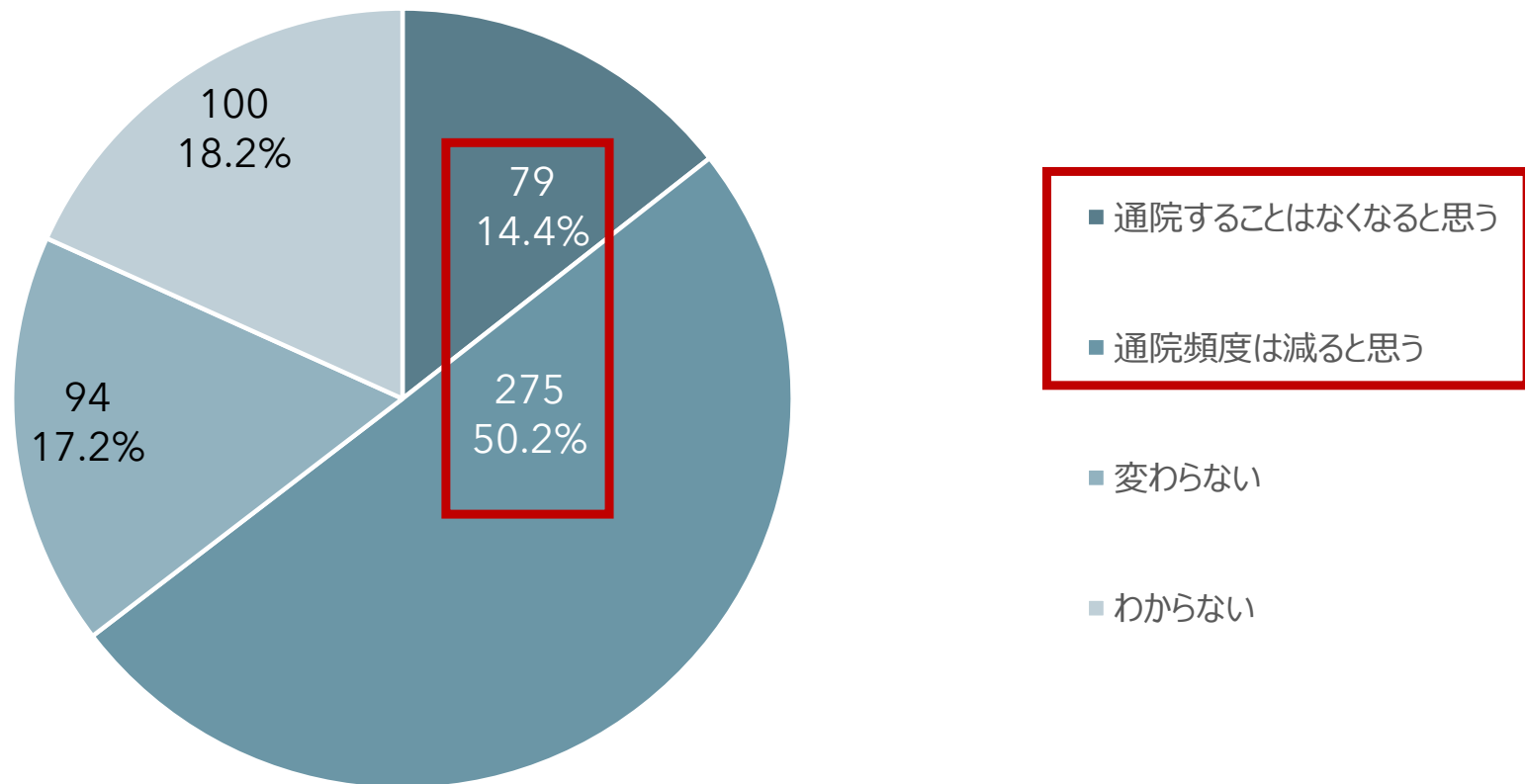


実物送付はセルフメディケーションの理解・浸透に有効な施策

実物送付の効果（医療機関受診への影響）

65%が医療機関の受診回数がなくなる/減ると回答

Q 今回の市販薬提供を受けて、今後の花粉症（アレルギー性鼻炎等）に関する医療機関の受診回数はどう変わると思いますか？最も近いものをご回答ください。(回答数: 548)

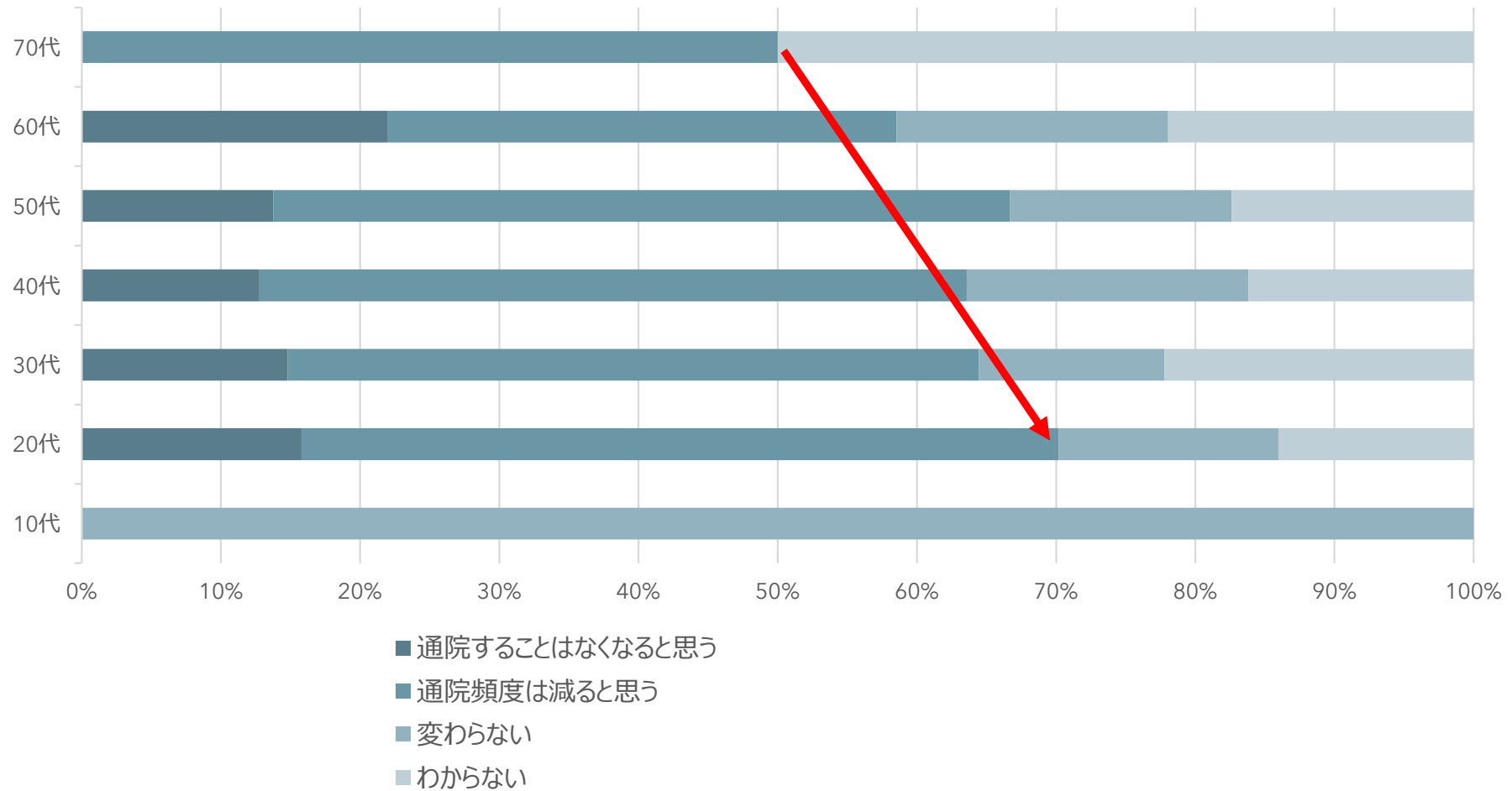


健保の期待する医療費適正化効果が見込める

実物送付の効果（医療機関受診への影響_年代別）

- 医療機関の受診頻度は若いほうが減少する傾向が見られた。

Q 今回の市販薬提供を受けて、今後の花粉症（アレルギー性鼻炎等）に関する医療機関の受診回数はどう変わると思いますか？最も近いものをご回答ください。(回答数: 548)



若い世代ほどOTCに対する受容度が大きい可能性がある

| Agenda

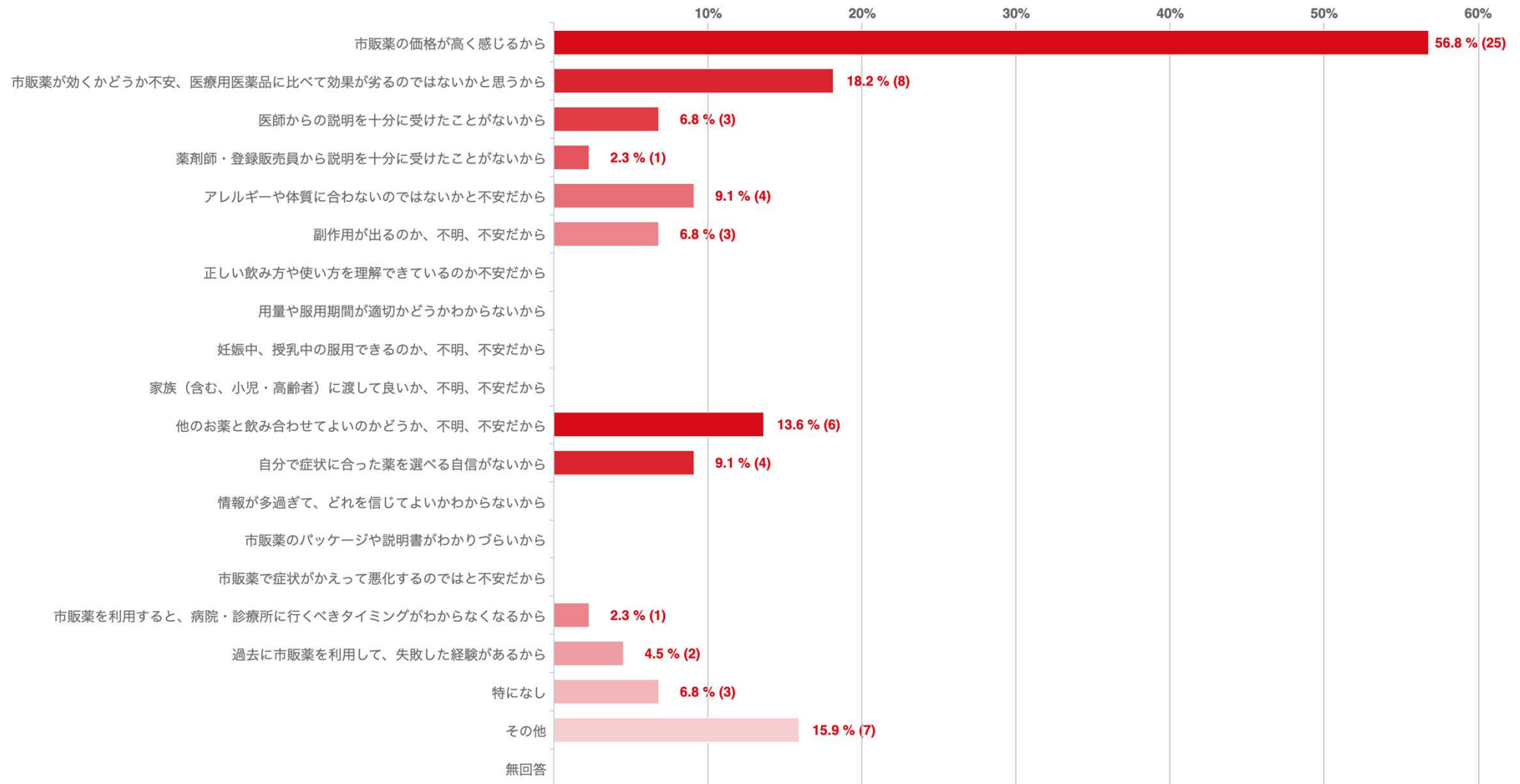
- プロジェクトの概要
- アンケート調査結果
 - 送付したOTC医薬品の認知率・利用歴
 - 送付したOTC医薬品の利用状況
 - 実物送付の効果
- その他

市販薬の購入をためらう理由

市販薬の購入をためらう最大の理由は「価格が高い」から

Q市販薬（スイッチOTC）の購入をためらう場合、その理由は何ですか？（回答数：44）【複数回答】

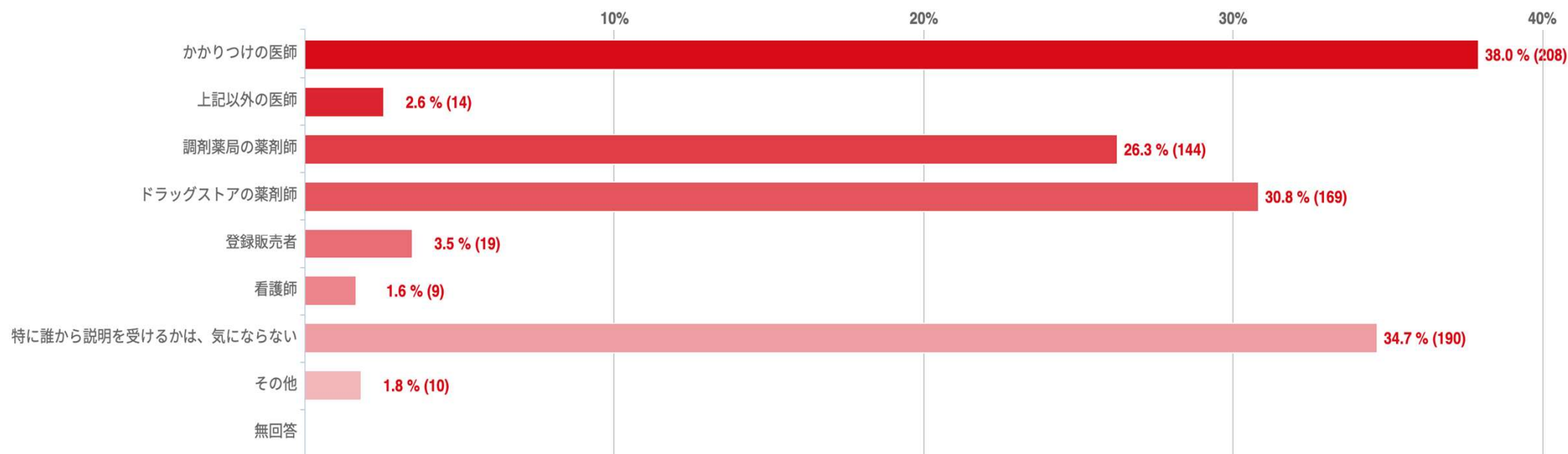
※実物送付を受けて「今後は（今後とも）市販薬は購入しないと思う」と回答した44名を対象



適切な相談先

- スイッチOTCについて相談したい相手は、かかりつけ医師38%、ドラッグストア薬剤師31%、薬局薬剤師26%

Q.市販薬（スイッチOTC）の情報について誰による説明・解説および、誰との相談を希望しますか？（回答数：548）【複数回答】



医師と薬剤師の活用がセルフメディケーション推進/スイッチOTCの鍵となりうる

まとめ

1. 送付した市販薬の認知率は77%と比較的高いが、利用歴がある方は44%に留まる。
2. 送付した市販薬について、“処方薬と同一有効成分”であることの認知率は30%に留まる。
3. DMのみで行動変容を検討する人は27%、DMのみでは行動変容しない人も実物送付で40%が行動変容を検討する。
4. 実物送付により、65%の受診が減少/なくなる。

|

End of File